

第16回全国シンポジウム

「地域推薦卒医学生の卒前・卒後教育をどうするか？」

～地域卒医師の貢献、そしてその課題を考える～

2025年2月21日(金)

於：ハイブリッド開催 会場:一橋講堂(東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内)

オンライン:ZOOM配信

今年で第16回となりますオンラインでの全国シンポジウムを開催させていただきました。

今回のテーマは「地域推薦卒医学生の卒前・卒後教育をどうするか？」～地域卒医師の貢献、そしてその課題を考える～ということで、各大学・医療機関、行政、一般など全国から多くの方々にご参加いただきました。

2010年度から本格的に設定された地域卒医学生の定員は年々増加し、一定の人数が臨床の現場に出始めています。過去の本シンポジウムでは、地域卒医学生の教育手法および離脱予防を含めたキャリア構築について議論し、地域卒制度の運用に関する課題についてある程度の結論は得られました。地域卒制度の導入により、地域の医師数は確実に増えてきていますが、令和7年度以降は、医学部定員削減の中で、地域卒医学生の定員の見直しが進められています。

地域卒に関しては平成30年より「キャリア形成プログラム運用指針」が医政局より出され、離脱者も減少傾向にありますが、ようやく来年度義務終了を迎える地域卒医師が出てまいります。そこで今回は、テーマを～地域卒医師の貢献、そしてその課題を考える～とし、意見交換を行いました。

現状や問題点について把握する良い機会になったのではないのでしょうか。

ご参加いただきましたの方々、本当にありがとうございました。

－プログラム－

日 時：2025年2月21日(金曜日) 13:00～16:30

開催方法：ハイブリッド開催 会場:一橋講堂(東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内)

オンライン:ZOOM配信

参加費：無料

参加者：地域卒医学生に関する事象に携わる自治体・大学・学生・医療機関並びに
地域医療教育に興味のあるの方々、地域医療支援センター関係者など

司 会：伊藤 智範(岩手医科大学 医学教育学講座地域医療学分野 教授)

大脇 哲洋(鹿児島大学大学院 離島へき地医療人育成センター/地域医療学分野 教授)

13:00 開会挨拶 開催趣旨説明

13:05 基調講演:「地域医療を担う人材の養成について」
文部科学省 医学教育課 課長 俵 幸嗣 様

13:30 情報提供:「全国及び地域卒専攻医選択状況 2018～2024年度のデータ解析」
鹿児島大学大学院 離島へき地医療人育成センター/地域医療学 教授 大脇 哲洋

13:30 特別講演:「過疎地域の現状と地域課題への対応」
島根大学教育学部 教授 作野 広和 先生

14:15 休憩

～シンポジウム～

- 14:25 1-1.「長崎県における地域枠医師の貢献、その現状と課題
～長崎県医学修学資金貸与制度、自治医科大学制度を含めて～」
長崎県対馬病院 院長/長崎県離島医療医師の会(もくせい会)顧問 八坂 貴宏 先生
- 1-2.「離島出身の地域枠医師の現状と展望」
長崎県対馬病院 内科・総合診療科 鋸崎 翔太 先生
- 14:45 2-1.「離島医療に挑む地域枠医師たちの勇気と探究心」
種子島医療センター 院長 高尾 尊身 先生
- 2-2.「種子島で求められる医療 ～内科医・循環器内科の立場から～」
種子島医療センター 循環器内科医長 東 祐大 先生
- 15:05 3-1.「幡多地域医療道場を通じたSEED学生・卒業生との関わり」
高知県立幡多けんみん病院 副院長/研修管理センター長/内科部長 川村 昌史 先生
- 3-2.「地域枠卒業生としてのneedsとseeds 義務終了を目前にして今思うこと」
高知県立幡多けんみん病院 循環器内科副医長 高畑 翔太 先生
- 15:25 4. 「「地域医療」に従事する面白さ～普代村国保診療所での9年間を振り返って～」
くじ整形外科・内科クリニック 榎屋 美緒 先生
- 15:45 休 憩
15:55 討 論
16:40 終 了



司会



伊藤 智範 先生



俵 幸嗣 様



作野 広和 先生



八坂 貴宏 先生



鋸崎 翔太 先生



高尾 尊身 先生



東 祐大 先生



川村 昌史 先生



高畑 翔太 先生



榎屋 美緒 先生



討論